

骨免疫学とRANKL生物学

日時：令和7年8月29日（金）17：00～18：00

場所：旗の台校舎 1号館 6階 会議室



東京大学大学院
医学系研究科免疫学 教授

高柳 広 先生

講演要旨

破骨細胞分化因子RANKLの発見は、骨と免疫の相互作用を研究する骨免疫学の発展につながった。炎症により骨が破壊される歯周病や関節リウマチの病態は、骨と免疫の相互作用が病態の中心となる代表的疾患である。ここでは、骨破壊性疾患におけるRANKLの役割、RANKLの発現細胞、発現制御領域の研究、中枢性免疫寛容やがんまで、RANKLの多彩な機能を示し、骨免疫学から発展したRANKL生物学について紹介する。

主催

昭和医科大学歯学部 口腔生化学講座・歯科薬理学講座
142-8555 品川区旗の台1-5-8

本セミナーはリカレント教育認定です。

担当：山田（内線：8163）